

江南J.C

[愛知県]

独特の組織形態にて 円滑な運営を

私 たちの街「江南市」は、愛知県北部の尾張地域に位置し、市北部を流れる木曾川の恵みを受けた肥沃な扇状地であり、温暖な気候や風土と相まって暮らしに最適な自然環境を整えています。

古く戦国時代には、信長や秀吉などの戦国武将が青春を過ごした歴史とロマンあふれる地であり、近年では名古屋近郊の住宅都市として都市化が進み、人口10万人を擁する中核的都市として順調な発展を遂げています。また最近ではその風情ある街並みが、嵐主演「黄色い涙」や唐沢寿明主演「20世紀少年」の映画ロケ地として脚光を浴びています。

その江南市に江南J.Cが産声を上げたのが、昭和40年。

この年、地域の発展には青年企業人の盛り上がった運動が必要という熱き志を持つ有志8名が集い、設立



昭和55年江南同友会発足当時

準備委員会が結成され、隣接する一宮J.C.にスポンサーとしてのご協力を仰ぎながら、10月10日の創立総会をもって会員46名を擁する江南J.C.が誕生しました。

その後12月12日には全国で312番目のLOMとして日本J.C.より承認を受け、翌年6月12日には、多くの関係者をお招きし認承証伝達式が盛大に挙行され、華々しく歴史の幕を開けました。



本年度賀詞交歓例会にて、伊藤鶴吉初代理事長、酒井久和第13代理事長、児山理事長、波多野直前理事長の鏡割り

設立当初より当会は独特な組織形態にて構成されています。

まず会には会長を置かず、相談役と世話人の構成によって運営されます。相談役は5年間隔の理事長経験者がこれを務め、毎年1代ずつ繰る事で順に変わっていき、単年で数えれば約7、9名の構成にて様々な取決めを司っています。

一方、世話人はJ.C.を卒業し同友会に入会したメンバーが自動的にこ



本年度賀詞交歓例会にて、乾杯のご発声を聴き入る先輩諸兄

れに充たります。その中で代表や会計役などを置き、主に慶弔などの実務を担います。

このように独特の形態は、力の一元化を防ぎ老若問わぬ意見集約をより可能にし、OB会本来の目的である「現役の後方支援」に傾注し得る有効なケースであることは、現在の円滑な運営状況からして実証されています。今更ながら当時、先を見据えた組織作りに深慮遠謀を巡らせた諸先輩に改めて感服致す次第です。

昨今、地域社会を取り巻く環境は混沌としています。この現況を打破するべく、現役メンバーの後ろ盾となりながら私たち「江南同友会」も共に「明るい豊かな社会」実現のため邁進していく所存です。

日本J.C.シニア・クラブ
愛知ブロック担当幹事
南村 朋幸